

【別添資料 9】現庁舎アスベスト事前調査概要

2. 調査内容

2-1 調査内容

本業務は、盛岡中央消防署庁舎の解体撤去工事に先立ち、施設内の吹付け材及び建材をサンプリング調査・分析し、石綿含有の有無を把握したものである。調査内容を表 2-1 に、設計図書の読み取りによる一次スクリーニングと、現地調査による二次スクリーニングにより決定した調査箇所及び検体数を表 2-2 に示す。また、調査場所を図 2-1 に示す。

表 2-1 調査内容

調査内容	石綿繊維の種類
石綿含有分析 (定性分析・定量分析)	・アモサイト ・クリソタイル ・クロシドライト ・アクチノライト ・アンソフィライト ・トレモライト

表 2-2 調査箇所及び検体数

番号	調査場所等				備考
1	盛岡中央 消防署庁舎	R2 スカイルーム	仕上げ材	天井	
2			ボード	天井	
3			ビニールタイル	床	
4		水槽室	ドリゾール板	壁	
5		2 階救急隊仮眠室	岩綿吸音板	天井	
6		6 階便所	吸音防火ライト板	天井	
7		5 階通信指令室	アスベストタイル	床	
8			吸音板（新）	天井	
9		中 2 階	ウォルコート M 吹付	天井	
10		ボイラー室	珪藻土	配管エルボ	
11			カポスタック	灰出し口	
12		地下駐車場入口	大平板	天井	
13		地下駐車場	ダクトパッキン	ダクト継目	
14		膨張タンク室	トムレックス	壁	
試料検体数：14 検体					

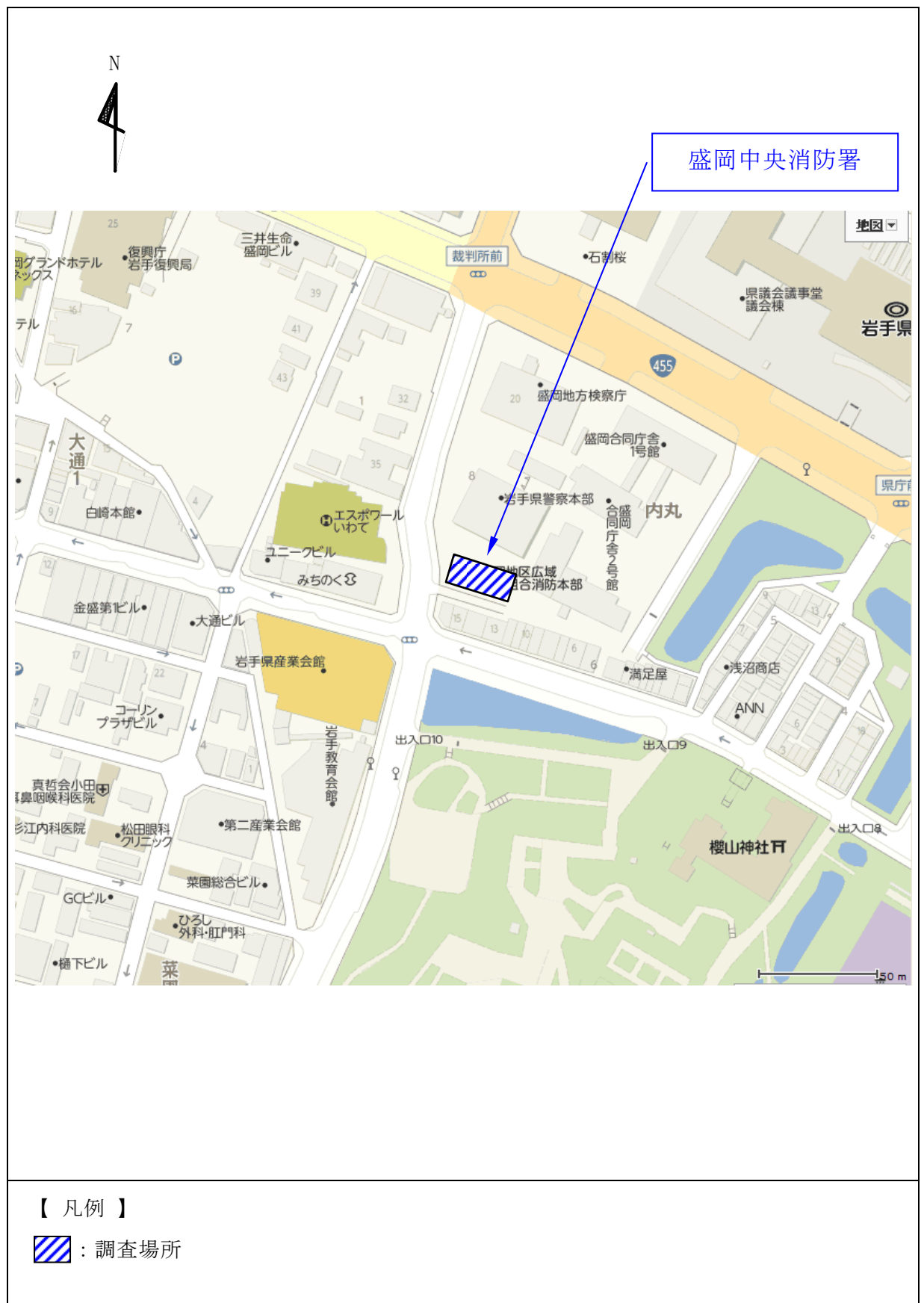


図 2-1 調査場所位置図

2-2 調査方法

(1) 試料採取方法

吹付け材の試料採取方法は、「石綿障害予防規則（平成 17 年厚生労働省令第 21 号）第 3 条第 2 項の規定」で示された方法に基づいて、以下のとおりに実施した。

- ①採取場所の確認
- ②必要により足場の確保（脚立又ははしご）
- ③採取箇所に飛散抑制剤を吹付けて湿潤化する
- ④カッター等で切れ目を入れ 10 c m³程度の試料を採取する
- ⑤採取した箇所に飛散防止剤を吹付け再飛散を防止する
- ⑥採取した試料をジッパー付ポリ袋に密封する

(2) 試料分析方法

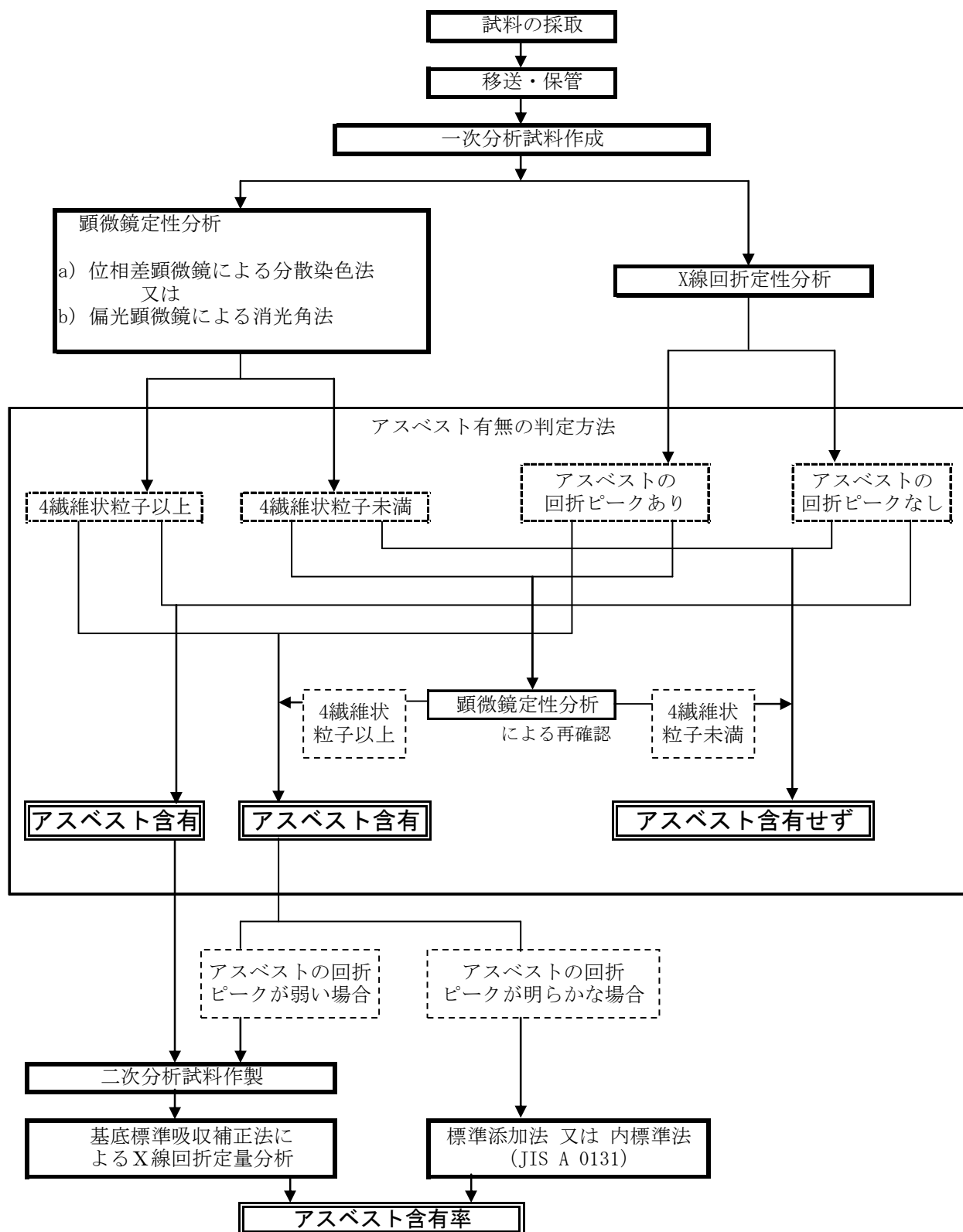
石綿含有率の分析方法は、次ページの図 2-2 に示す JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」の分析フロー従って実施した。

2-3 使用機器

石綿含有分析に使用した機器は、表 2-3 に示すとおりである。

表 2-3 使用機器

分析方法			使用機器
石綿含有	定性分析	分散染色分析法及び X 線回折分析法	位相差顕微鏡：(株)ニコン 80 i TP-DPH 型 X 線回折装置：島津製作所(株) XRD-6100 型
	定量分析	X 線回折分析法	X 線回折装置：島津製作所(株) XRD-6100 型



※残渣率とは（二次分析試料の秤量値）／（一次分析試料の秤量値）のことである。

図 2-2 JIS A1481 建材製品中のアスベスト含有率測定方法 分析フロー

3. 調査結果

3-1 石綿の定性・定量分析結果

調査結果は、表 3-1 に示すとおりである。

調査の結果、R2 スカイルーム（仕上げ材、ボード）、6 階便所（吸音防火ライト板）、5 階通信指令室（アスベストタイル）、地下駐車場入口（大平板）、地下駐車場（ダクトパッキン）において、クリソタイルが検出された。また、ボイラー室（珪藻土、カポスタック）、膨張タンク室（トムレックス）において、アモサイトが検出された。

表 3-1 分析結果

（試料採取日：平成 24 年 6 月 7 日）

番号	調査場所等		分析結果	
			定性分析	定量分析 (%)
1	R2 スカイルーム	仕上げ材	クリソタイル含有	2.0
2		ボード	クリソタイル含有	9.0
3		ビニールタイル	含有無し	—
4	水槽室	ドリゾール板	含有無し	—
5	2 階救急隊仮眠室	岩綿吸音板	含有無し	—
6	6 階便所	吸音防火ライト板	クリソタイル含有	14
7	5 階通信指令室	アスベストタイル	クリソタイル含有	0.26
8		吸音板（新）	含有無し	—
9	中 2 階	ウォルコート M 吹付	含有無し	—
10	ボイラー室	珪藻土	アモサイト含有	2.5
11		カポスタック	アモサイト含有	14
12	地下駐車場入口	大平板	クリソタイル含有	9.9
13	地下駐車場	ダクトパッキン	クリソタイル含有	4.3
14	膨張タンク室	トムレックス	アモサイト含有	8.5

※定量下限値は 0.1%

3-2 石綿含有建材の範囲

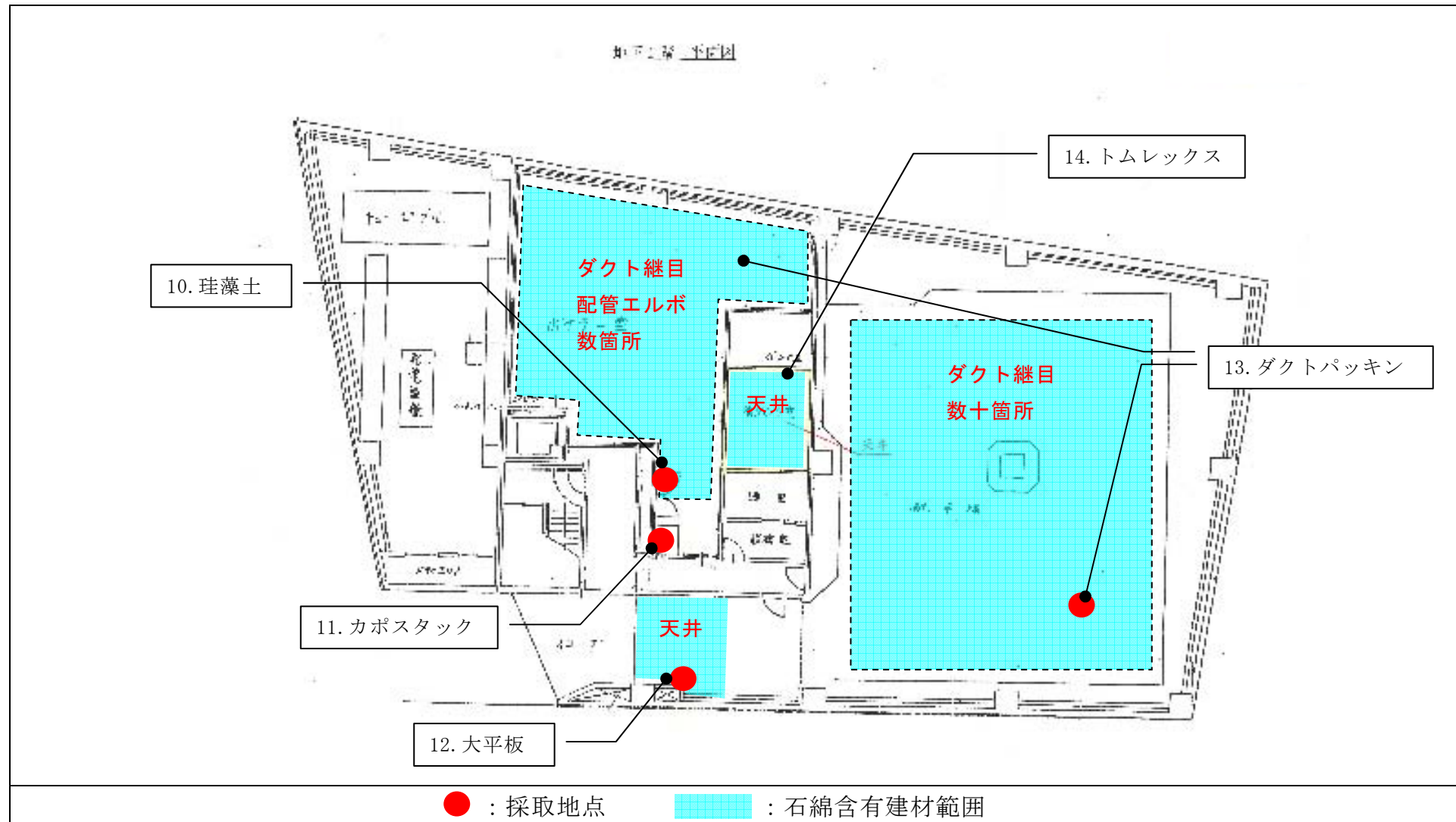
一次スクリーニング（5月28日から6月5日実施）と、二次スクリーニング（6月6日実施）により確認した石綿含有建材の使用箇所を表3-2に示す。

また範囲図を巻末資料の採取地点位置図に示す。

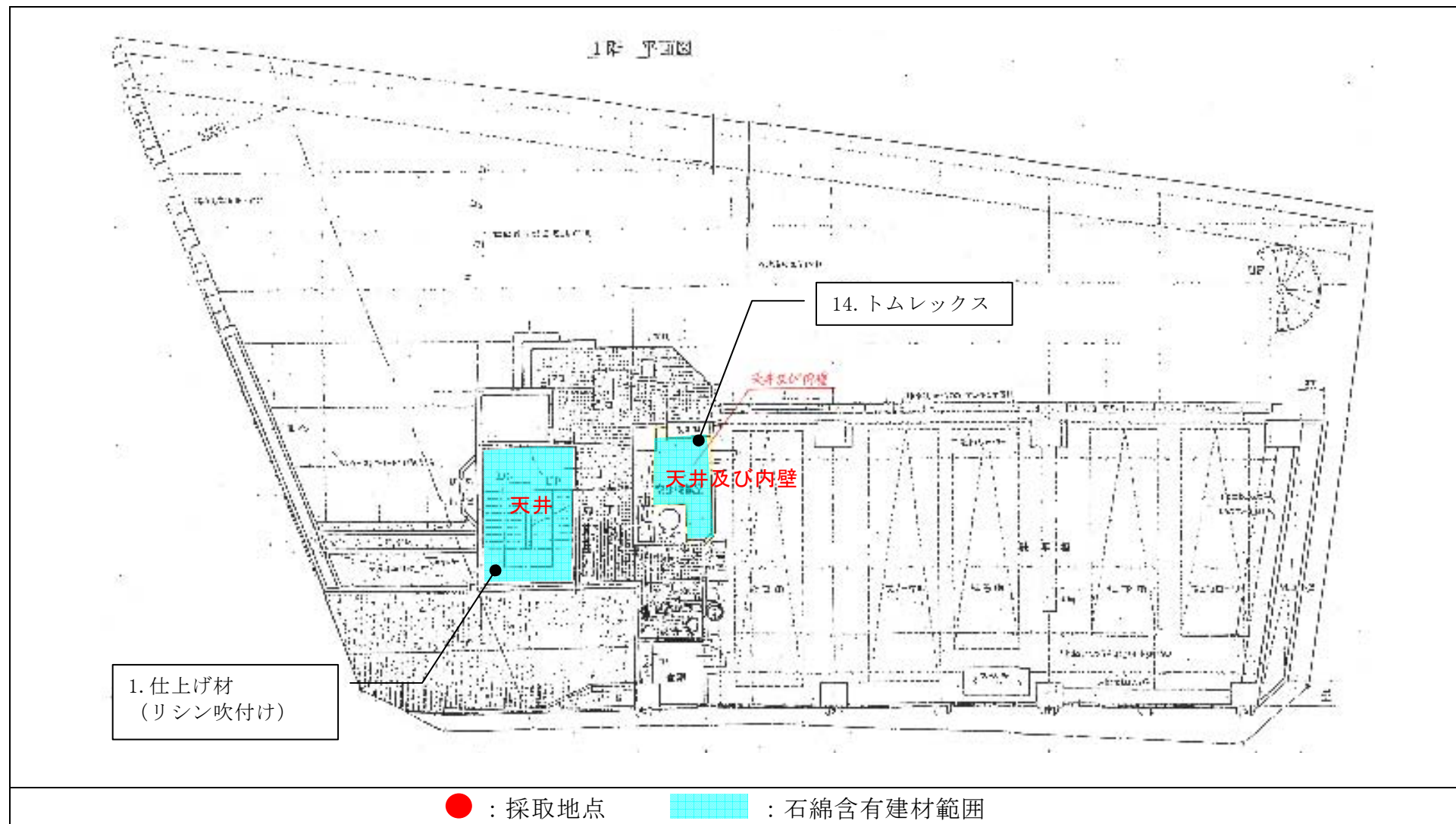
表 3-2 含有建材使用範囲

石綿含有建材名	使用範囲		
	階数	部屋名	使用部位
仕上げ材 （リシン吹付け）	地下1階～PH1階	階段室	天井
	PH2	スカイルーム	天井
ボード	PH2	スカイルーム	天井（吹付け材の下）
吸音防火ライト板	2階	厨房	天井
	2階～6階	湯沸し室	天井
	2階～6階	便所	天井
アスベストタイル	5階	通信司令室	床
珪藻土	地下1階	ボイラー室	ボイラー配管エルボ
カポスタック	－	煙突	内壁
大平板	地下1階	地下駐車場入口	天井
	6階	バルコニー	軒天井
ダクトパッキン	地下1階	地下駐車場	ダクト継目
	地下1階	ボイラー室	ダクト継目
	－	ダクト配管	ダクト継目
トムレックス	地下1階	油タンク室	天井
	1階～6階	空調機械室	天井及び内壁
	PH1階、PH2階	膨張タンク室	天井及び内壁

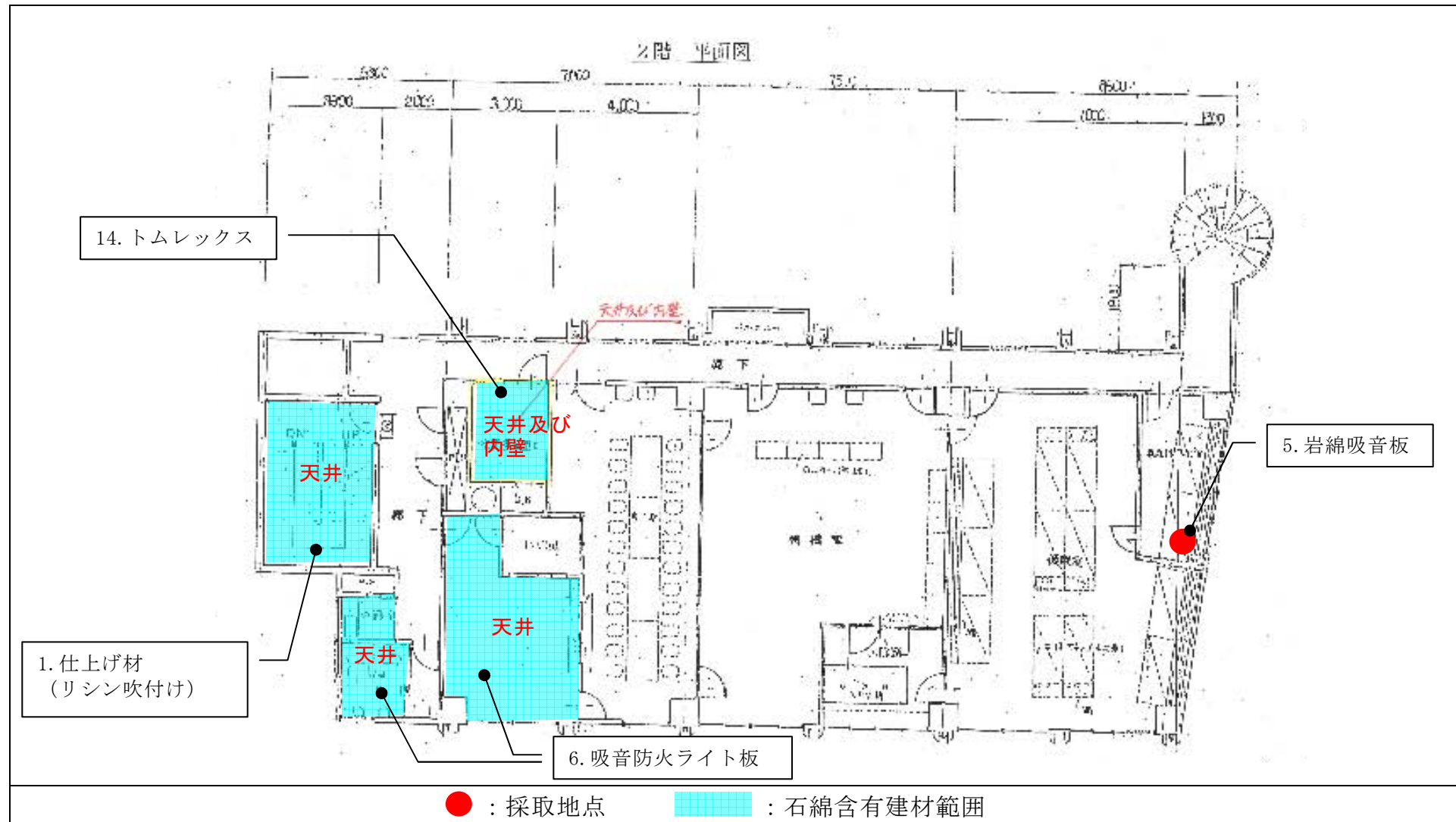
採取地点位置図（地下1階）



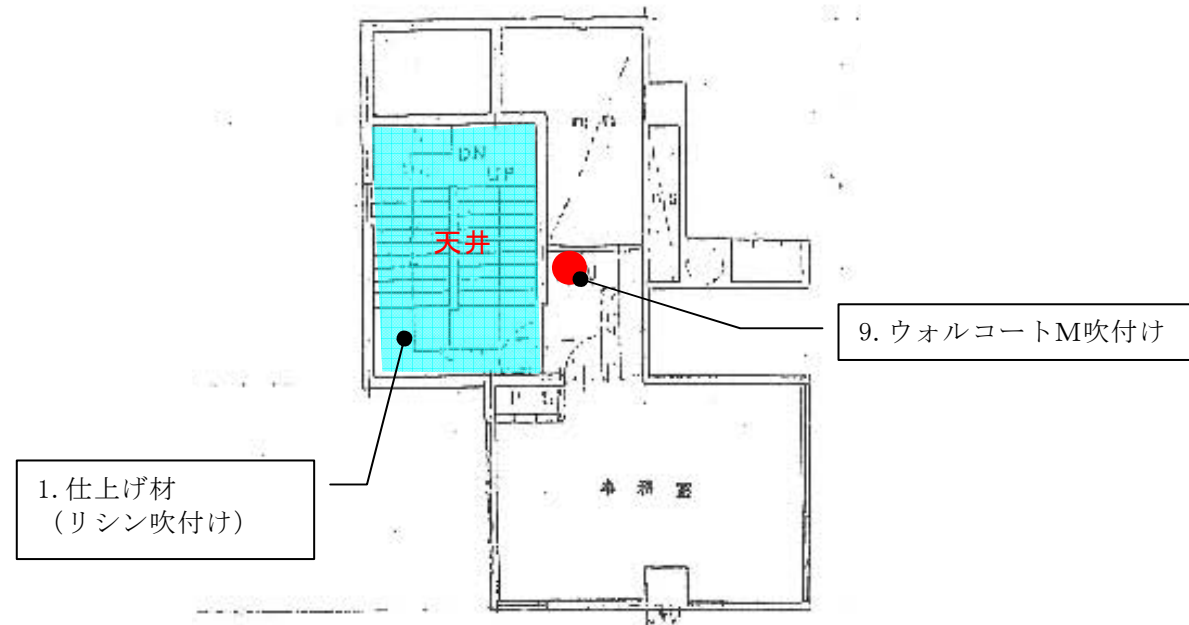
採取地点位置図（1階）



採取地点位置図（2階）

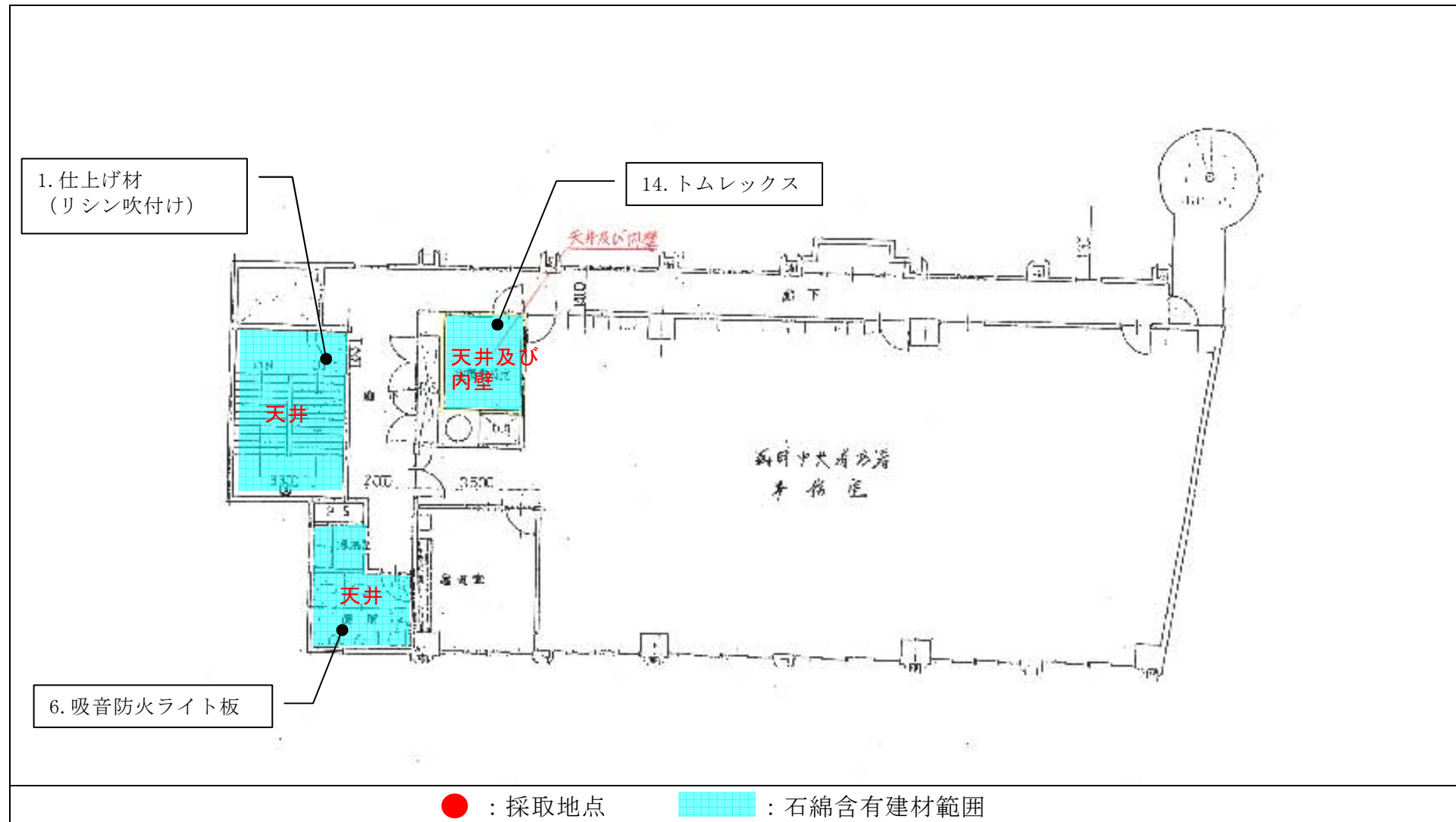


採取地点位置図（中2階）

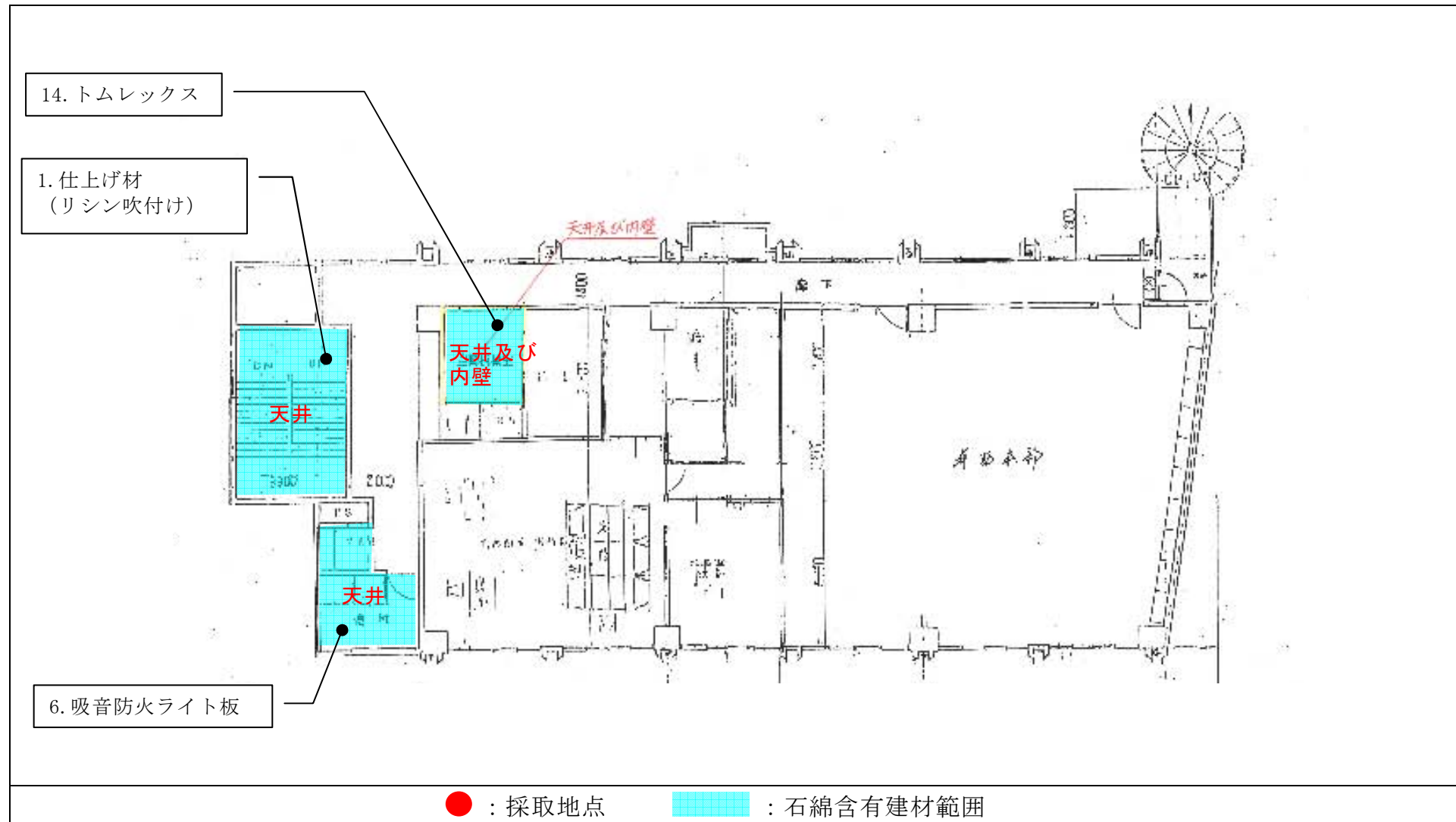


● : 採取地点 ■ : 石綿含有建材範囲

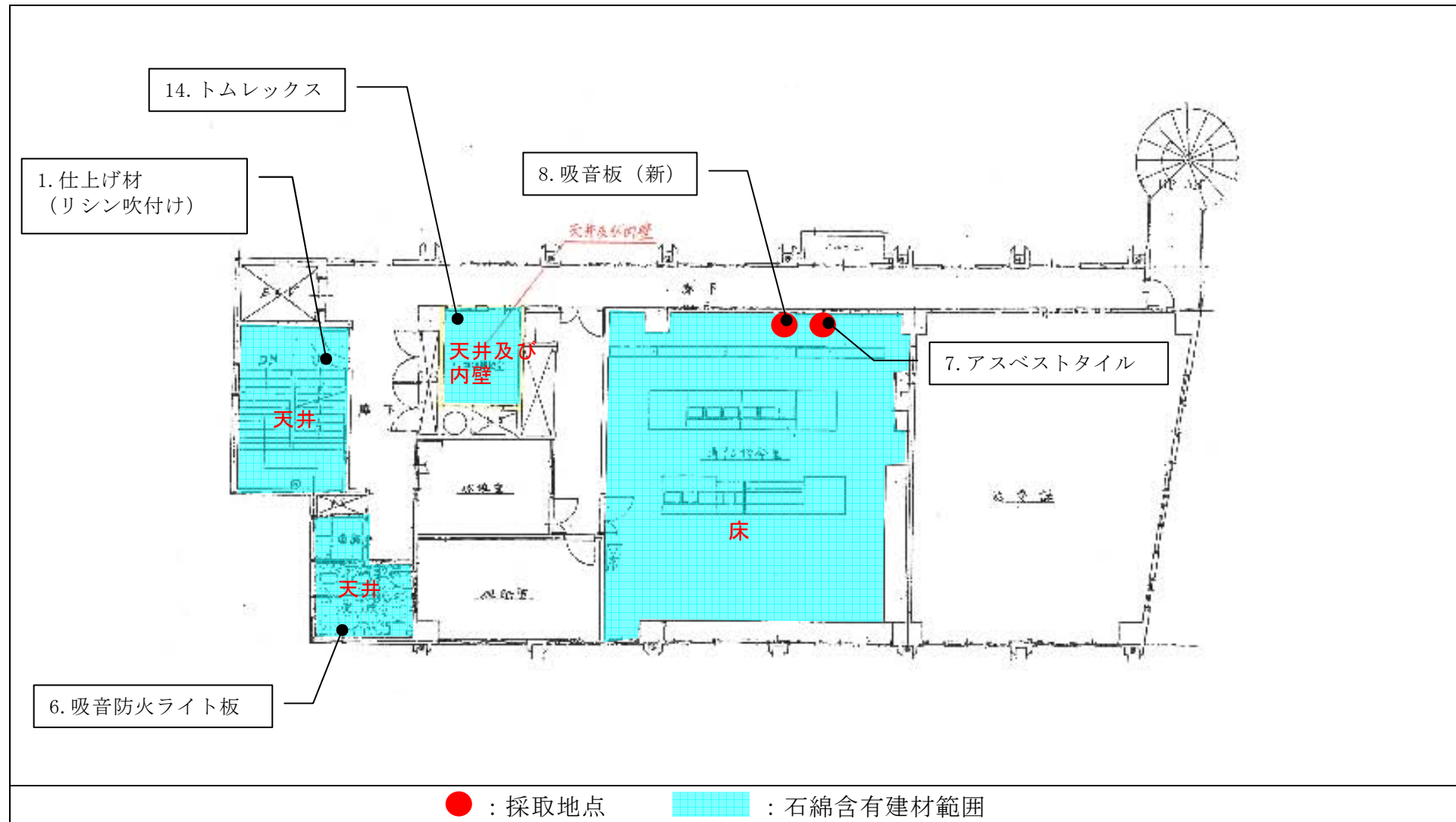
採取地点位置図（3階）



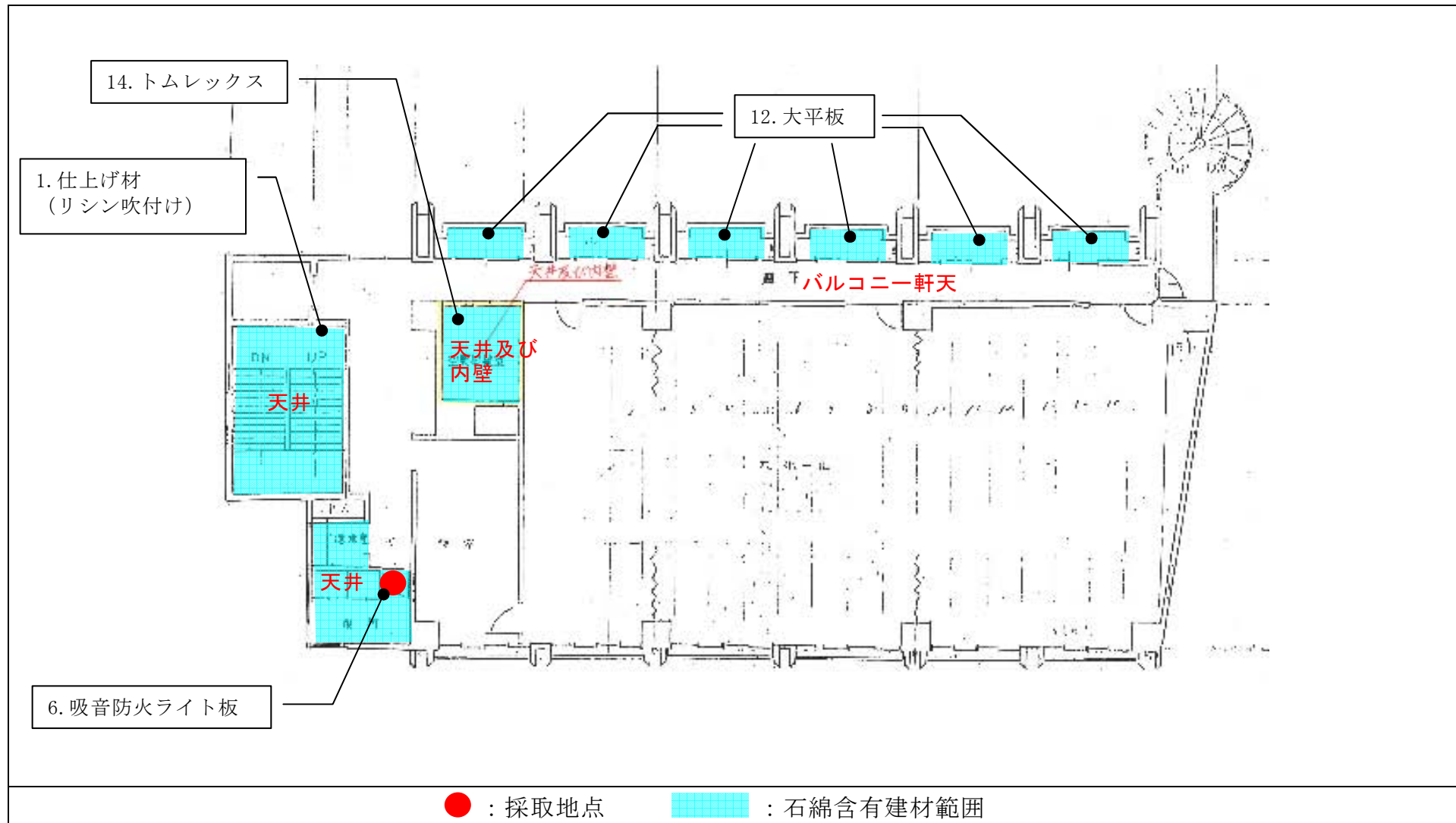
採取地点位置図（4階）



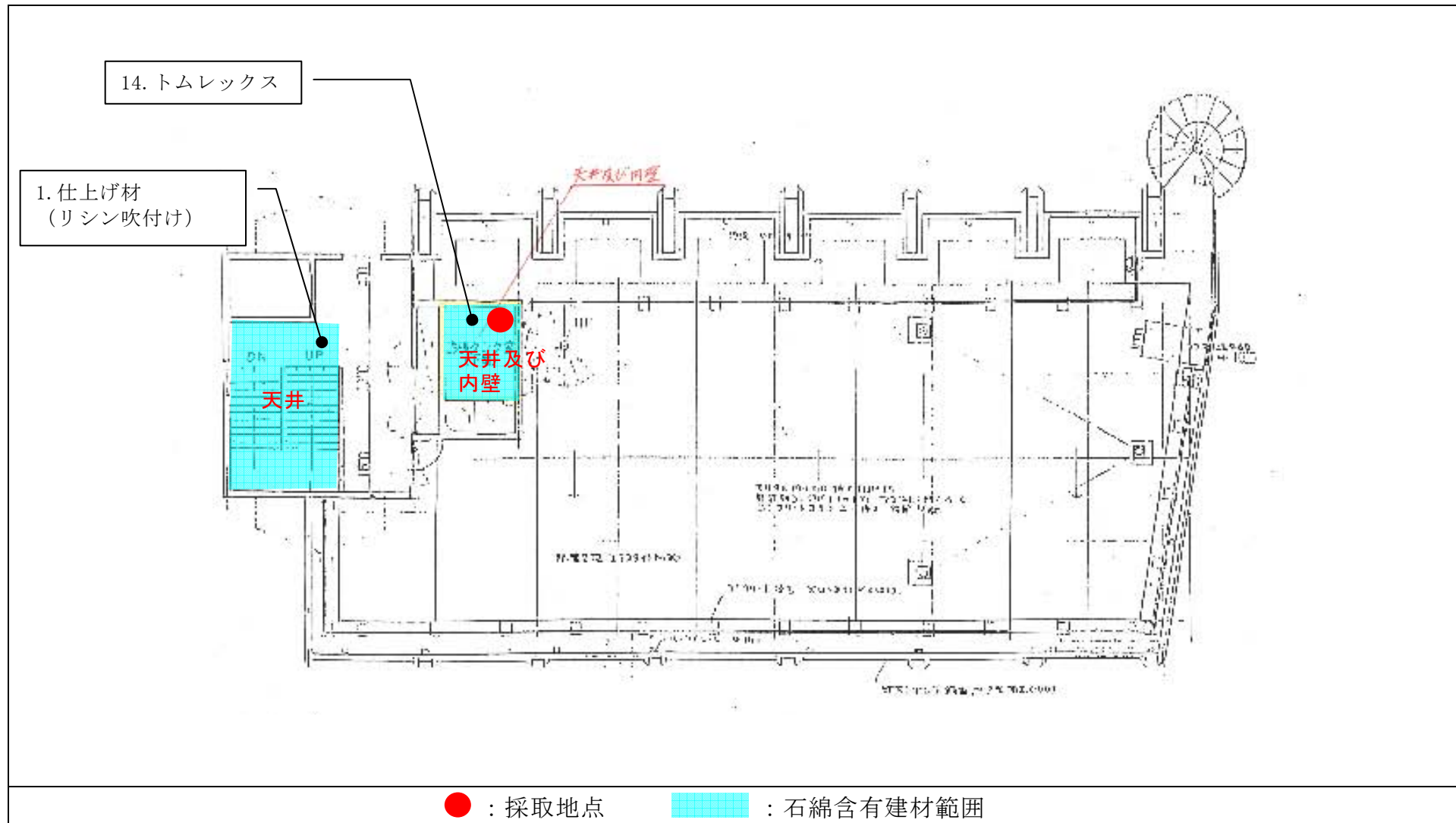
採取地点位置図（5階）



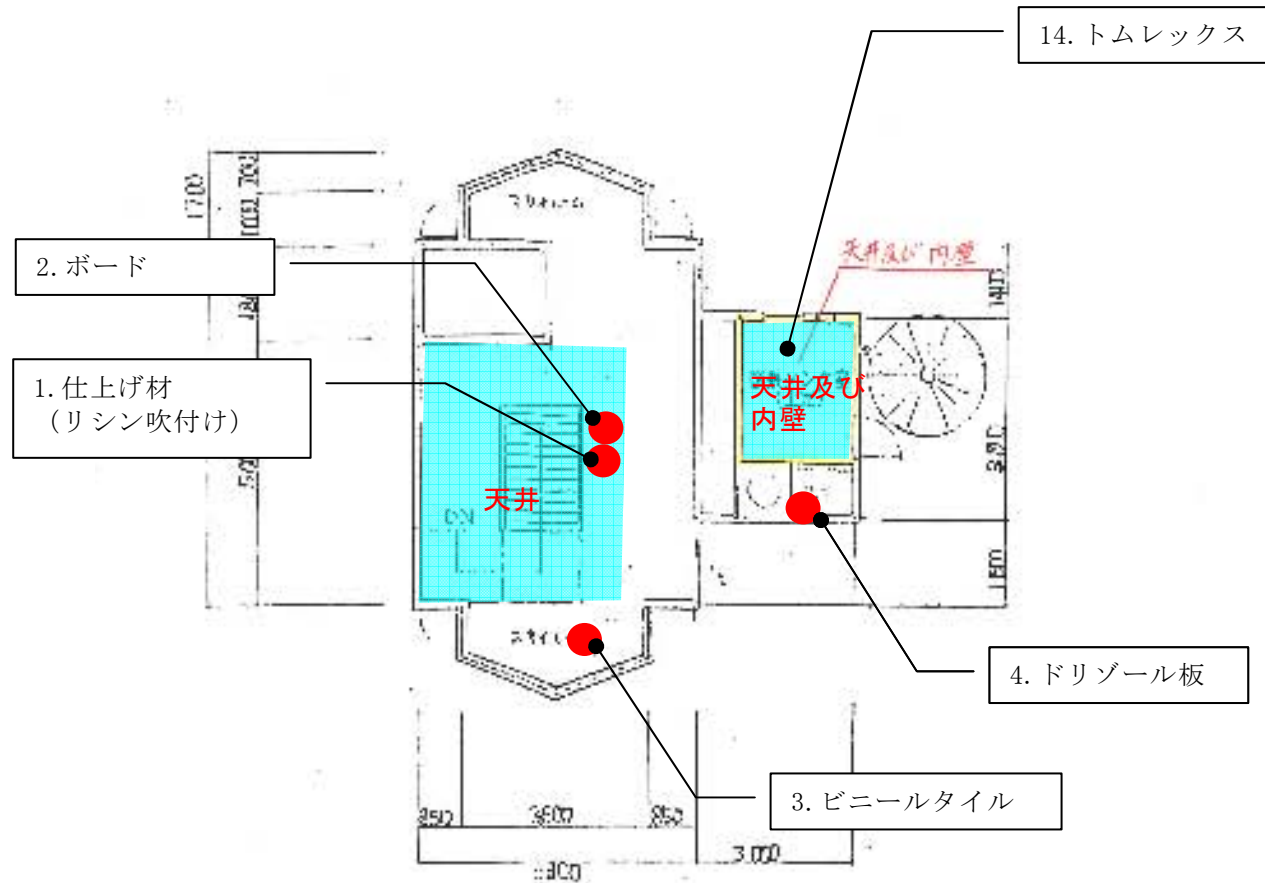
採取地点位置図（6階）



採取地点位置図 (PH1階)



採取地点位置図 (PH2階)



● : 採取地点 ■ : 石綿含有建材範囲